

躍動する兵庫へ さらなる挑戦



(公財)兵庫県芸術文化協会会長
兵庫県知事
齋藤元彦

新年あけましておめでとうございます。
県民の皆様のご負託をいただき、昨年11月より知事として2期目のスタートを切りました。新たな施策や改革に取り組んだ1期目の挑戦を緩めることなく、兵庫の未来を切り拓いていきます。

第1は、若者が輝く兵庫づくり。教育費の負担軽減や教育環境の充実、不登校対策の強化、不妊治療支援の充実など、若者の不安を解消し、一人ひとりが力を発揮できる環境を整えます。

第2は、誰もが活躍できる兵庫づくり。万博を機に、地場産業や農業、芸術文化など県内各地の活動現場へ国内外から多くの人々を誘うひょうごフィールドパビリオンのほか、次世代産業や有機農業の振興など、多様な活躍の場を広げます。

第3は、安全安心に暮らせる兵庫づくり。阪神・淡路大震災から30年の節目を迎える中、震災の経験と教訓を次の世代につなぐ取組を強化します。特殊詐欺被害対策などの暮らしの安全を守る取組にも力を入れます。

果敢な挑戦で新しい時代をひらく「躍動する兵庫」の実現には、県民の皆様と力を合わせたオール兵庫での取組が欠かせません。どうぞご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



題字：井茂圭洞(書家・文化勲章受章者)

451号

2025年1月号

SNS やっています!



Facebook



X (旧Twitter)



YouTube



Instagram

兵庫県芸術文化協会

(公財)兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号(兵庫県会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財)兵庫県芸術文化協会理事長

▼ <https://hyogo-arts.or.jp>



豪華な記念公演 目白押し 特設ページでラインナップ紹介

県立芸術文化センターは、今年で開館20年を迎えます。12月31日までの1年間、20周年を記念した多種多様な公演をお届けします。特設ページも開設していますので、ぜひご覧ください。

【主な記念公演】

- ▶2025年度ワンコイン・コンサート 出演者お披露目 新春・顔見世コンサート / 1月3日(金)14時 / KOBELCO 大ホール
- ▶ミュージカル「next to normal」 / 1月11日(土)12時・17時、12日(日)12時、13日(月・祝)12時 / 阪急 中ホール
- ▶兵庫芸術文化センター管弦楽団 第156回定期演奏会 / 1月17日(金)17時46分、18日(土)・19日(日)各日15時 / KOBELCO 大ホール
- ▶笑福亭鶴瓶落語会 / 1月25日(土)・26日(日)各日14時 / 阪急 中ホール

- ▶劇場へ行こう～躍動する古典芸能の世界～ / 2月1日(土)14時 / 神戸女学院 小ホール
- ▶バロック・オペラ・エボリューション2025 濱田芳通&アントネッロの「オルフェオ」 / 2月15日(土)・16日(日)各日14時 / 阪急 中ホール
- ▶大和証券グループPresents 佐渡裕指揮 トーンキンストラ管弦楽団 / 5月10日(土)17時 / KOBELCO 大ホール
- ▶ケムリ研究室no.4「ベイジルタウンの女神」 / 5月22日(木)～25日(日) / 阪急 中ホール
- ▶山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団 / 6月29日(日)14時 / KOBELCO 大ホール
- ▶佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2025「さまよえるオランダ人」 / 7月19日(土)～27日(日)全7公演 各日14時 / KOBELCO 大ホール
- ▶兵庫芸術文化センター管弦楽団 第161回定期演奏会 / 8月8日(金)・9日(土)・10日(日)各日15時 / KOBELCO 大ホール
- ▶兵庫芸術文化センター管弦楽団 第162回定期演奏会 / 9月12日(金)・13日(土)・14日(日)各日15時 / KOBELCO 大ホール
- ▶ひょうご能「安宅(あたか)」 / 9月21日(日)14時 / 阪急 中ホール
- ▶兵庫県立芸術文化センタープロデュース「明日を落としても」 / 10月(未定) / 阪急 中ホール
- ▶ひょうごの民俗芸能祭 第三弾～五国の川と文化遺産～ / 11月1日(土) / 阪急 中ホール



特設ページはこちら

Y+T MOCA 横尾忠則現代美術館 阪神・淡路大震災30年 遊びながら鑑賞! 横尾忠則の人生スゴロク展

展示空間をスゴロクに見立て、遊びながら横尾忠則の波乱万丈の人生と作品をたどって「あたり」をめざす、前代未聞の企画展。故郷の「西脇編」(3階展示室)からスタートし、社会現象を巻き起こした青年時代の「東京編」(2階展示室)では、画家としての名声を確立する軌跡を振り返ります。

同展覧会に関連し、スゴロクや花札、麻雀、百人一首など「遊び」にちなんだ作品・資料も紹介しています。

また、1階のオープン・スタジオでは阪神・淡路大震災から30年の節

目として、アーティストの立場から震災復興に尽力した横尾氏の活動に注目し、被災地を元気づける展覧会やチャリティー・ポスター企画などの作品を解説します。

【日時】1月17日(金)～5月6日(火・振休)10時～18時

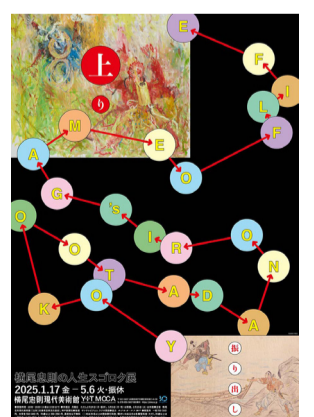
【観覧料】一般700円、大学生550円、70歳以上350円、高校生以下無料

【問い合わせ】横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607

【キュレーターズ・トーク】

学芸員が本展の見どころを分かりやすく解説。2月15日(土)、3月15日(土)、4月19日(土)のいずれも14時～14時45分

🎁 5組10人にチケットプレゼント。締切1月15日(水)必着



展覧会のチラシ

令和6年度 兵庫県文化賞 受賞者

【受賞者のご紹介】

あかまつ たまめ
赤松 玉女さん(65)

画家(京都市)＝尼崎市出身。京都市立芸術大学学長。1980年代から絵画制作を始め、国内外の美術館やギャラリーを中心に活動。さまざまな画材や技法を組み合わせた表現の可能性を研究し、後進の育成にも取り組み美術振興に尽力しました。



赤松 玉女さん

ふかせ ひろゆき
深瀬 裕之さん(72)

書家(播磨町)＝古代仮名と呼ばれる古筆に注目し、力強く風韻に富んだ作品を発表。日展において高く評価され、特選を2回受賞。兵庫県書作家協会理事長など多くの団体で要職を歴任し、書の発展や後進の育成に尽力しました。



深瀬 裕之さん

まつむら きみひこ
松村 公彦さん(62)

和太鼓奏者(神戸市垂水区)＝神戸市立西高校(現・須磨翔風高校)勤務時、和太鼓部を創部。和太鼓松村組を発足し、国内のほか、ドイツ、中東諸国などでコンサートを開催。和太鼓教室の実施など和太鼓の普及に尽力しています。



松村 公彦さん

かいたわしぼぞんかい
皆田和紙保存会(佐用町)

文化振興＝室町時代から生産される「皆田和紙」の保存継承を目的に、平成17年に結成。同27年、県伝統的工芸品に指定。上月城御城印の料紙製作や、上月歴史資料館の指定管理者として地域文化の魅力発信と活性化に貢献しました。



ひょうごけんさどうきょうかい
兵庫県茶道協会

茶道＝昭和50年発足。茶道8流派が加盟し、会員数1000人を超える団体。茶会や小中高校での体験教室を開催。子どもをはじめ県民に日本の伝統文化に親しむ機会を提供し、後世に伝えていく活動を展開しています。



催物情報 イベントガイド

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

原田の森ギャラリー ☎078-801-1591 ※入場無料



- 第6回一陽会関西支部彫刻展〈東館1階〉 彫塑・立体約25点 1月7日(火)～13日(月・祝)
- 第32回晩展〈本館1・2階〉 書約1000点 1月11日(土)～12日(日)
- 第22回神戸朝高美術部展 / 第16回 OB・OG 絵美展〈東館2階〉
油彩・水彩・アクリル・水墨画・立体約60点 1月15日(水)～19日(日)
- 第24回一先会書展 併催：第22回全国学生書道展〈本館1・2階、東館1階〉
書約550点 1月17日(金)～19日(日)
- 第26回神戸市立六甲アイランド高等学校 芸術系美術・デザインコース展〈東館1・2階〉
絵画・写真・工芸・ファッションほか約250点 1月22日(水)～26日(日)
- 第14回一案書芸院 代表展〈本館1・2階〉 書約130点 1月25日(土)～26日(日)
- 第98回国展写真部選抜巡回展 in 神戸〈東館2階〉
写真約150点 1月28日(火)～2月2日(日)
- 書道香饗展〈本館1・2階、東館1階〉 書約350点 1月31日(金)～2月2日(日)
- カフェギャラリー遊 ハートフル展〈障害者アートギャラリー〉
書・絵画・さをり織り・陶芸約20点 1月4日(土)～3月30日(日)

兵庫県立美術館 ☎078-262-1011



- 阪神・淡路大震災30年 企画展 1995 ⇒ 2025 30年目のわたしたち
～3月9日(日)
6組7名のアーティストによるグループ展で、自然災害や紛争に見舞われる現代に求められる希望を考える展覧会。
※観覧料1,600円ほか【友の会割引あり】

兵庫県立考古博物館 ☎079-437-5589



- 冬季企画展「弥生の墓－玉津田中遺跡の方形周溝墓－」
1月18日(土)～3月16日(日)
神戸市西区の玉津田中遺跡で見つかった、供えられた土器や、木棺、矢じり、装飾品などから弥生時代の埋葬方法を紹介します。
※観覧料200円ほか【友の会割引あり】

中之島香雪美術館 ☎06-6210-3766



- 特別展「大原美術館所蔵 20世紀美術の巨匠たち♡ ウォーホル、ロスコ、リキテンスタイン」
1月18日(土)～4月6日(日)
マルチ・アーティストのアンディ・ウォーホル、抽象表現主義のマーク・ロスコなど、大原美術館が所蔵する20世紀を代表する作家の作品39点などを展示します。
※観覧料1600円ほか【友の会割引あり】

令和6年度 兵庫県芸術奨励賞 受賞者

【受賞者のご紹介】

えとう ゆうぞう
江藤 雄造さん(42)

漆芸作家(姫路市)＝蒔絵、藍胎(らんたい)漆器などの技術を習得し、寺社などの文化財修復を数多く手がけているほか、ガラスやアクリル板に金魚の蒔絵を施した作品も制作。県工芸美術作家協会理事として漆芸の普及に尽力しています。



江藤 雄造さん

はやし ゆうき
林 勇氣さん(47)

映像作家(宝塚市)＝デジタル画像や映像データなどを切り取り、つなぎあわせて映像作品を制作。音楽を取り入れた作品やライブ、パフォーマンス、ワークショップの領域にも進出。国内の映画祭に出品するなど活動の幅を広げています。



林 勇氣さん

スーパーキッズ・オーケストラ

器楽(西宮市)＝県立芸術文化センターによる小学生から高校生までのオーケストラで佐渡裕氏が芸術監督を務めます。災害被災地でのプロジェクトなど、クオリティの高い演奏と若さあふれるエネルギーな音楽で注目されています。



令和6年度 ともしびの賞 受賞者

【受賞者のご紹介】

- 【神戸】太田 富美枝さん(82、工芸/西区) ▶ 川口 和子さん(76、写真/垂水区)
▶ 箱木 真人さん(92、文化財保護/北区)
- 【阪神南】認定NPO法人芦屋市国際交流協会(地域文化振興/芦屋市)
▶ 西宮交響楽団(音楽/西宮市)
- 【阪神北】池田 洋介さん(85、郷土史研究/三田市) ▶ 稲田 光甫(本名:稲田 光代)さん(86、華道/川西市)
- 【東播磨】松村 聡さん(80、邦楽/加古川市) ▶ 謡曲合唱団たかさご(伝統芸能/明石市)
- 【北播磨】ヤホー神事保存会(文化財保護/三木市) ▶ 河島 喜代美さん(94、邦舞/小野市)
- 【中播磨】竹尾 壽敏さん(68、工芸/姫路市) ▶ 尾崎 織女さん(62、地域文化振興/姫路市)
- 【西播磨】中垣内さいれん坊主保存会(民俗芸能/たつの市) ▶ 尾崎獅子舞保存会(文化財保護/赤穂市)
- 【但馬】沖野 龍敬(本名:沖野 美代子)さん(95、邦楽/豊岡市) ▶ 小崎 愛子さん(78、俳句/豊岡市)
- 【丹波】丹波篠山市菊花同好会(地域文化振興/丹波篠山市) ▶ 植村 八郎さん(90、絵画/丹波市)
- 【淡路】上田 治子さん(90、邦舞/淡路市) ▶ 戒 悦子さん(76、民俗芸能/淡路市)

兵庫県立歴史博物館 ☎079-288-9011



- 阪神・淡路大震災30年 特別展「阪神・淡路大震災を伝える・知らせる ― 情報と通信の1990年代 ―」
1月11日(土)～3月16日(日)
大震災が発生し、マスコミや自治体、支援者らはいかに情報を社会に伝え、共有しようとしたのかを振り返ります。震災を知らない学生の視点で捉えた資料も展示します。
※観覧料1,000円ほか【友の会割引あり】

兵庫陶芸美術館 ☎079-597-3961



- 開館20周年記念特別展 TAMBA NOW+2025 ― 変わらぬ風景、進化するやきもの ―
1月2日(木)～2月28日(金)
開館10周年から5年を節目に開催している丹波篠山市域の陶芸を一挙に紹介する展覧会。総勢94人の近作が一堂に会します。
※観覧料600円ほか【友の会割引あり】

姫路市立美術館 ☎079-222-2288



- 隈研吾の「コソゴツ」 哲学 過去から未来へ生き残るデザイン―高田賢三へのオマージュ―
～2月2日(日)
隈氏がリノベーションしたパリの旧高田賢三邸を再現した新作模型や、高田の作品・遺愛品で構成されるインスタレーション、建築の模型やモックアップなど約30点を展示します。
※観覧料700円ほか【友の会割引あり】

プレゼントのご応募について



- ①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキか FAX で送付。
*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940 9時~21時・月曜休み※祝日の場合翌日



https://piccolo-theater.jp 兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証)
アクセス▶■JR宝塚線塚塚駅西出口より、西へ徒歩約5分
■阪急神戸線塚塚駅南出口より、南東徒歩約8分

兵庫県立ピッコロ劇団設立30周年記念 阪神・淡路大震災30年
第81回公演 ピッコロシアタープロデュース

「神戸 わが街」 ソートン・ワイルダー作『わが町』より

ワイルダーの不朽の名作「わが町」。阪神・淡路大震災から10年に際して、日本を代表する劇作家でピッコロ劇団前代表の別役実が、その舞台を神戸にうつし、「神戸 わが街」をピッコロ劇団に書き下ろしました。生活や人生の尊さを描いた本作を、震災から30年のいま、兵庫・大阪で活躍する俳優陣、合唱メンバー総勢27名で新たに立ち上げます。

【潤色】別役 実・ピッコロ劇団

【演出】吉村祐樹(ピッコロ劇団)

【日時】2月21日(金)19時、22日(土)11時★/16時★、23日(日・祝)11時/16時

★…視覚に障害のある方の鑑賞をサポートする音声ガイドサービスあり(要申込)

【会場】兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】全席指定 一般4,500円 大学生・専門学校生3,000円
高校生以下2,500円



ジョージ (ヨシオ) 谷口 遼



エミリー (エミ) 鈴木あぐり



桂 米團治

2025ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」

【出演・演目】「子ほめ」桂 米舞、「看板の一」桂 米團治、「紙入れ」桂 團治郎、「不動坊」桂 米團治、上方落語のお囃子紹介、「質屋芝居」桂 米團治

【日時】2月2日(日)14時 【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円

2025ピッコロ寄席

「子どもと楽しむ落語会」

日本の文化・習慣、庶民の情や知恵を、ユーモラスに描く落語の世界。落語初心者はもちろん、精通した方にも好評です。客席の子どもたちの反応も新鮮!

【出演・演目】

「動物園」桂 二豆、<解説>落語について、

「四人ぐせ」桂 佐ん吉、「蛇含草」桂 吉弥

【日時】3月8日(土)14時

*開場13時30分~開演までの間

お囃子体験ができます!

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】全席指定

一般2,500円 高校生以下1,000円

セット券(一般+高校生以下)3,000円

※セット券は同時入場

※未就学児の

入場はご遠慮

ください。

【発売日】

1月17日(金)



桂 吉弥



前回のお囃子体験の様子



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時~17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



https://www.gcenter-hyogo.jp

アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)

■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

知的・発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム

劇場って楽しい!! in 兵庫県立芸術文化センター

本公演は、知的・発達障がい児(者)が、街(地域)の劇場へ鑑賞者として参加できる機会を増やし、芸術や文化に触れる機会を増やすことを目的としています。音の大きさや響き、演出効果による照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを、鑑賞しながら学び、「劇場」を体験する学習プログラムです。

大好評を博した昨年、一昨年に続き、今回は「劇場で感じる“音”のきらめき」をお送りします。「どうして大きな音でブザーがなるの? どうして暗いの? こたえがわかれば劇場は楽しい!」を合言葉に、3月1日は、ご家族そろって劇場で楽しみましょう!

<予定される曲目>

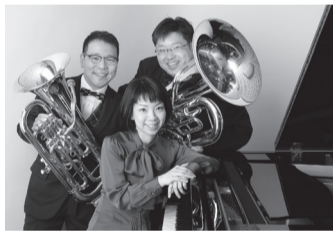
チャールダーシュ、アメイジング・グレイス

Two Dogs ほか

<出演>

ワーヘリ(ユーフォニアム: 外圍 祥一郎/

チューバ: 次田心平/ピアノ: 松本 望)



ワーヘリ

【日時】3月1日(土)14時(上演時間約60分/休憩なし)

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】500円(自由席/当日精算のみ)

【申込開始】1月15日(水)10時(先着順。定員になり次第受付終了)

兵庫芸術文化センター管弦楽団

第158回定期演奏会

川瀬賢太郎 モーツァルト&シベリウス

目覚ましい活躍を続ける指揮者の川瀬賢太郎とベルリン・フィルの首席ホルンのシュテファン・ドールとの待望の共演。ドールが初演を務めた細川俊夫の「ホルン協奏曲一開花の時」、そしてモーツァルト「ホルン協奏曲第3番」と、時代の異なる2つのコンチェルトは必聴。シベリウス「交響曲第5番」では川瀬賢太郎のタクとPACによる躍動感あふれる演奏をお届けします。

【日時】3月7日(金)、8日(土)、9日(日) 各日15時

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】A席5,000円 B席以下売切(全席指定/税込)



兵庫芸術文化センター管弦楽団



シュテファン・ドール



提供:名古屋フィルハーモニー交響楽団
川瀬賢太郎

書道香瓔展

とき 令和7年1月31日(金)~2月2日(日)

午前10時~午後5時(最終日は午後4時)

会期中 午後1時~ 理事長による作品解説

ところ 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

神戸市灘区原田通3-8-30 TEL 078-801-1591

■第43回選抜120人展 一線の時間性 (本館2階大展示室)

■パッション展 (本館1階展示室)

第1部 第3回パッション選抜作家展

第2部 第43回香瓔ジュニア会員展特別賞作品展

第3部 第21回研究生修了展 一今一

《併催》第39回全国ジュニア書道展特別賞作品展 (東館1階)

■主催 書道香瓔会

■後援 読売新聞社

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野4-107・I-105

TEL0795-48-5495

神戸新聞社

第14回 一楽書芸院代表展

一線のエネルギー

会期 令和7年1月25日(土)~1月26日(日)

午前10時~午後5時(最終日は午後4時まで)

会場 原田の森ギャラリー2階大展示室・1階展示室

〒657-0337 神戸市灘区原田通3-8-30 ☎078-801-1591

一楽書芸院

〒651-0056 神戸市中央区熊内町4-8-8-301

☎(078) 241-3373 Fax (078) 241-3372

第43回 ふるさと文化賞 受賞者決定

契沖の会(遺徳の顕彰・短歌振興/尼崎市)▶宇原獅子舞保存会(伝統芸能/宍粟市)▶竹村重雄さん(邦楽・文化振興/丹波市)

今年度の「ふるさと文化賞」を1個人2団体に贈呈します。永年にわたって地域社会でひたむきな努力を重ね、伝統文化を守り育ててきた方々の功績を称える表彰で、今回で第43回目となります。贈呈式は1月28日、こうべまちづくり会館で行います。

【受賞者の紹介】

契沖の会(尼崎市) 遺徳の顕彰・短歌振興 = 尼崎で生まれた契沖の偉業遺徳を顕彰し様々な世代や地域の人々が多数参加する短歌大会の開催などを通して地域文化の向上に尽くされました。



契沖の会

宇原獅子舞保存会(宍粟市) 伝統芸能 = 江戸時代から伝わる宇原獅子舞を地域が直面する課題に応じて創意工夫を重ねながら伝承や魅力発信に努め地域文化の向上に尽力されました。



宇原獅子舞保存会

竹村重雄さん(81、丹波市) 邦楽・文化振興 = 黒井おどりの保存継承や春日戦国太鼓の指導など永年にわたり丹波地域の文化活動の普及啓発に取り組み地域文化の向上に尽くされました。



竹村重雄さん

兵庫ふれあい美術展 特別賞に28作品

第30回兵庫ふれあい美術展は、12月19日から22日にかけて原田の森ギャラリーで、県内の美術愛好家から寄せられた幅広いジャンルの作品238点を展示し、そのうち特別賞は28作品、佳作には21作品が選ばれました。



力作が多数寄せられた兵庫ふれあい美術展

【受賞者(敬称略)】

- ▶兵庫県知事賞 = 日本画/木内豊美「葦の風」、洋画/正井幸雄「舞子 移情閣」、彫刻/鎌田美也子「異世界への冒険」、工芸/大松徳子「旧神戸居留地十五番館」、書/宮本華逯「長編漢詩」、写真/三宅玲子「幻影」、鈴懸の径絵画/齋藤富雄「山桜(但馬路)」
- ▶兵庫県日本画家連盟賞 = 日本画/高橋なびき「まどろみ」
- ▶兵庫県美術家同盟賞 = 洋画/釈迦堂昭子「ザクロと山ぶどう」
- ▶兵庫県彫刻家連盟賞 = 彫刻/長宗正幸美「世廻」
- ▶兵庫県工芸美術作家協会賞 = 工芸/中原好美「とどけ Peaceful World」
- ▶兵庫県書作家協会賞 = 書/前田岬河「流れ」
- ▶兵庫県写真作家協会賞 = 写真/廣岡卓樹「鶏の目…」
- ▶鈴懸の径絵画賞 = 鈴懸の径絵画/三宅得司「桜吹雪」
- ▶兵庫県議会議長賞 = 日本画/齋藤富雄「黎明(神戸)」、洋画/原田ちず子「風のゆくえ」、工芸/美藤慶子「永澤寺の睡蓮」、書/松井英樹「呉均に贈る(贈吳均)」、写真/廣瀬光八「動かぬ人、急ぐ人」、鈴懸の径絵画/正森寛隆「三田市旧市街」
- ▶兵庫県教育委員会賞 = 日本画/平田尚志「海神社」、洋画/高山智文「海中都市アトランティス」、工芸/田中早苗「怒濤」、書/繪野尚子「響」、写真/西橋弘「お帰りなさい」、鈴懸の径絵画/南静枝「再生」
- ▶(公財)兵庫県芸術文化協会賞 = 洋画/片山保幸「人とひとの間に在るもの」、鈴懸の径絵画/大谷顕治「播州赤穂の風景」

おすすめスポット 友の会 たずね歩き

県立兵庫津ミュージアム 兵庫県の歴史、成り立ち学ぼう ひと味違う「ハミデル ハクブツカン」

常設展示室には北前船の展示も



古代から瀬戸内海の重要な港として栄えてきた兵庫津。幕末維新の時期には初代の兵庫県庁が置かれた歴史豊かな地に県立兵庫津ミュージアムがあります。木造平屋の復元施設「初代県庁館」が2021(令和3)年11月に、4階建ての博物館施設「ひょうごはじまり館」が22(令和4)年11月にそれぞれオープンしました。映像や体験型コンテンツなど様々な手法で発信、従来とひと味違う「ハミデル ハクブツカン」をめざしています。

初代県庁は1868(慶応4)年5月、兵庫県の誕生とともに大坂町奉行所兵庫勤番所に置かれ、伊藤博文が初代知事として着任しました。初代県庁館は勤番所の建物を復元しており、知事の執務室や裁判を行った吟味場(お白州)、庭園、同心屋敷、船見番の官舎、仮牢や牢番の番小屋などを再現しています。

ゴーグルを着けて動画を仮想体験する「バーチャル VISIT」では、幕末空間を約20分間体感できます。若い伊藤知事と豪商が語り合う姿を目の前で見ているような感覚が味わえます。

ひょうごはじまり館のコンセプトは「見て・聞いて・触る」です。1階の常設展示室や幅13mのダイナミックシアターで、兵庫津の歴史や県の成り立ちなどを分かりやすく紹介しています。

兵庫津は古代に大輪田泊と呼ばれた港で、奈良時代に行基が整備します。平安時代には平清盛が日宋貿易を行い、室町時代には將軍足利義満が日明貿易の拠点とします。戦国時代には織田信長の家臣池田恒興が兵庫城を築き、江戸時代に尼崎藩領から幕府領へと変遷。何度も戦禍や災害に遭いながら復興を繰り返した歴史が学べます。北前船の模型、デジタル魚とり体験「いけす de タッチ」なども楽しめます。

2階の企画展示室では年間4、5回の企画展を行っており、1月19日までは「阪神・淡路大震災30年特別展示」(人と防災未来センターと共催)を開催中。～そのとき・あゆみ・みらい～と題して実物資料や写真、グラフィックなどを展示しています。

3階の研修室では田辺眞人名誉館長、笠井敏光館長、学芸員らによる講演や歴史講座が週末を中心に開かれています。

「えべっさん」で賑わう町

JR兵庫駅に近い柳原蛭子神社は「柳原のえべっさん」として市民に親しまれています。毎年1月9日～11日の「十日えびす大祭」は露店が出店し、商売繁盛や「福」を求める参拝客で



柳原蛭子神社



初代県庁館。庭から望む県庁舎



おでかけ ちょっとメモ

- ▶県立兵庫津ミュージアム = 神戸市兵庫区中之島2-2-1。開館時間は4月～9月=9時～18時、10月～翌3月=9時～17時。最終入場は閉館の30分前まで。休館は月曜(祝休日の場合は翌日)。観覧料は大人300円(200円)、大学生200円、高校生以下無料。70歳以上150円。()内は当協会友の会料金。特別展や企画展の会期中は展覧会によって料金が異なる。地下鉄海岸線中央市場前駅から徒歩5分。JR兵庫駅から徒歩20分。神戸市バス「県立兵庫津ミュージアム前」下車すぐ。☎078-651-1868
- ▶柳原蛭子神社 = 神戸市兵庫区西柳原町5-20。JR兵庫駅から徒歩5分。神戸高速鉄道新開駅、大開駅から徒歩10分。地下鉄上沢駅、中央市場前駅から徒歩15分。☎078-651-0183

賑わいます。恒例行事として、境内の神楽殿では淡路人形座による人形浄瑠璃「福神楽 戎舞」が奉納され、「まぐろ神輿」が町内を巡ります。

読者プレゼント
 県立兵庫津ミュージアムの招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。1月15日(水)必着。

Our Field, Our SDGs 私たちのフィールド、私たちのSDGs

